Q5K-YSK-120-F01 Q5K-120-F01-M01



# KYBスペシャルインナーキット 取付・取扱説明書

適応機種 YZF-R25/R3 (2019年モデル〜)

工数:1.7h

はじめに

#### ♪お客様へ

お買い上げ誠にありがとうございます。

本書には商品の正しい取付方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。

本製品は、オートバイに関する整備上の一般的な知識および技能を有する方(販売店、整備業者)が取り付けることを前提としております。それ以外の方が取り付けを行うと知識不足、技能不足のため、トラブル、機械破損などの原因となることがありますので、販売店に取り付けを依頼してください。本書は、車両の取扱説明書および本品の取り付けに際して取り外した部品と一緒に保管してください。車両を譲られるときは、この説明書もお渡しください。

#### ▶販売店様へ

本製品の商品説明および取扱上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。

本書および本品の取り付けに際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい取り付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

#### **↑ 警告** 取扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

注意

取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要 点 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

ヤマハサービスマニュアルを参照してください。

		横 成 音	<u> </u>	
No.	品 名	部品番号	数 量	備考
1	キャップボルト R		1	右用
2	キャップボルト L		1	左用
3	ダンパーロッドASSY.		1	左用(ロックナット仮組済み)
4	スペーサー		1	左用
(5)	カラー		1	左用
6	スプリング		2	
7	Oリング	4V4-23188-L0	2	
(8)	ステッカー		2	YZF-R25/3用 お好みの場所に貼り付けてください

部品番号欄が空欄のものは、補修部品の設定はありません。

#### 要点

- このインナーキットは減衰力アジャスターが追加されています。レースに使用する場合は、レースによってはレギュレーションに適合しない可能性があります。ご注意ください。
- ◆キット以外の部品は、スタンダード車の部品を再使用します。
- ●取り外した部品で再使用しない部品は、スタンダードに戻すときに必要となりますので大切に保管してください。

事前に準備が必要な部品(別売り)						
No.	品名	部品番号	数 量	備	考	
9	ガスケット	2BU-F3158-00	1			
10	ヤマルーブ サスペンションオイル01	90793-38044	1			

# 分解組立に必要な特殊工具(別売り) 工具名称 部品番号 数量 備 考 ばいよーロッドませばー(32mm) 90890 01591 1

タンパーロットホルター(32mm)	90890-01591	1	
ダンパーロッドホルダー(29mm)	90890-01592	1	
ダブルオープンエンドレンチ(25mm)	90890-01593	1	厚さ5mm以下のモンキーレンチでも可
フォークスプリングコンプレッサー	90890-01441	1	
ロッドホルダー	90890-01434	1	
ロッドプーラー	90890-01437	1	
ロッドプーラーアタッチメント(M10×1.0)	90890-01436 または 90890-01578	1	

#### 取 付 方 法

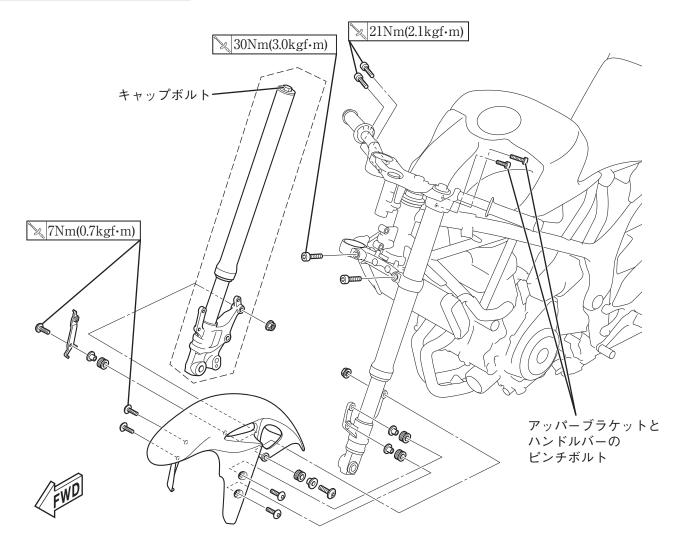
# ▲ 警告

作業は平坦な場所で行い、車両を確実に支えることが可能なスタンドを使用してください。

# ■フロントフォークの取り外し

- 1.フロントフォークを取り外す前に、アッパーブラケットとハンドルバーのピンチボルトを緩め、スタンダード車のキャップボルトを緩めます。
- 2.サービスマニュアルを参考にして、スタンダード車の左右フロントフォークを取り外します。 🖺

#### 図1 フロントフォークまわり組立図



締め付けトルク

フロントブレーキキャリパー取付ボルト	35Nm(3.5kgf·m)
フロントホイールアクスル	52Nm(5.2kgf·m)

## ■右フロントフォークのインナーパーツ交換

1. 図2を参考に、キャップボルト、スペシャルナット、ラバーを取り外し、フォークオイルを抜きます。

#### 要点

スペシャルナットは特殊工具ダブルオープンエンドレンチ (25mm-16mm) 【90890-01593】 または厚さ 5mm 以下の薄型モンキーレンチを使用して緩めます。

2.ダンパーロッドホルダー29mm【90890-01592】 を使用してダンパーロッドストッパーを取り外し、ダンパーロッド、スプリングを取り外します。



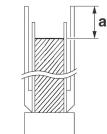
3.フォークオイルを注入します。

オイル量(右): 409.0cm<sup>3</sup> オイルレベル: 106mm \*1

推奨オイル:ヤマルーブ サスペンションオイル01【90793-38044】

※1: フロントフォークオイルレベル" a" はフォークスプリングを取り外した状態で

アウターチューブをいっぱいに縮めたときのアウターチューブ上端からのレベルです。



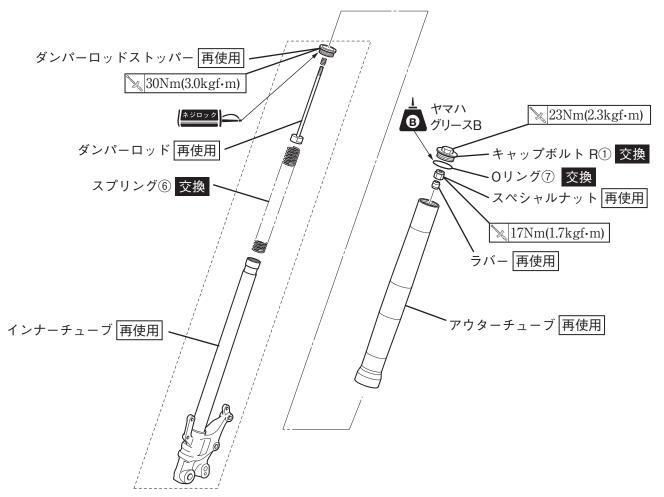
4. 図2を参考に、スプリング⑥、キャップ①、Oリング⑦をキット部品に交換して組み立てます。

#### 要点

- キャップボルトは、ダンパーロッド先端が底着くまでねじ込み、スペシャルナットで固定します。
- スプリングは外径が小さい方を車両上側に向けて取り付けます。(右図参照)

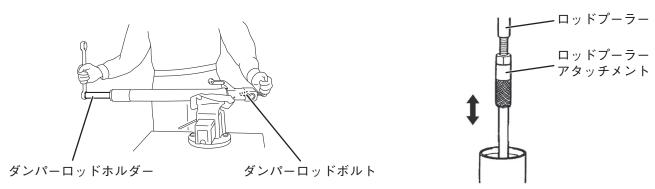
# **1** ±

#### 図2 右フロントフォーク構成図



## ■左フロントフォークのインナーパーツ交換

- 1.図3を参考にキャップボルト、ロックナット、カラー、スペーサー、スプリングを取り外し、フォークオイルを抜きます。
- 2. ダンパーロッドホルダー32mm【90890-01591】を使用してダンパーロッドを保持し、ダンパーロッドボルト、ガスケット、ダンパーロッドASSY. (スタンダード) を取り外します。

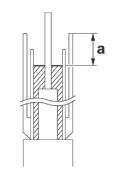


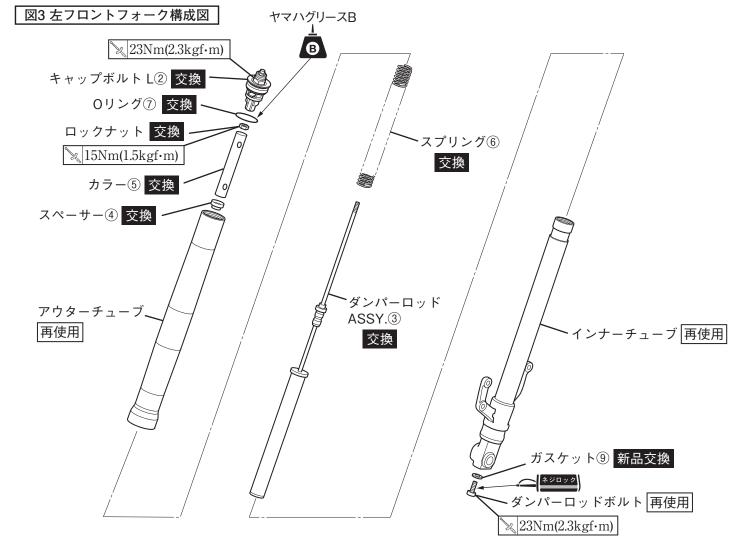
- 3. ダンパーロッドASSY. ③を、新品のガスケット ⑨、ダンパーロッドボルトで取り付けます。
- 4.ロッドプーラー、ロッドプーラーアタッチメントをダンパーロッド先端に取り付けます。
- 5. フォークオイルを注入し、ダンパーロッドをストロークさせて内部のエアを充分に抜いた後、 オイルレベルを調整します。

オイル量(左):316.0cm<sup>3</sup> オイルレベル:131mm\*1

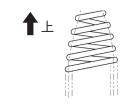
推奨オイル:ヤマルーブ サスペンションオイル01【90793-38044】

※1: フロントフォークオイルレベル" a" はフォークスプリングを取り外した状態で アウターチューブをいっぱいに縮めたときのアウターチューブ上端からのレベルです。





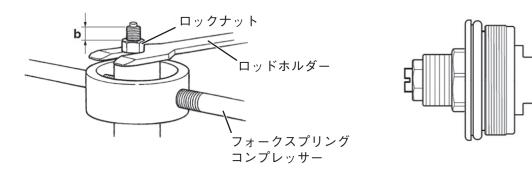
- 6.ロッドプーラー、ロッドプーラーアタッチメントを取り外します。
- 7. ダンパーロッドASSY.③に仮組みされているロックナットを取り外し、キット部品のスプリング⑥、スペーサー④を取り付け後、ロックナットを取り付けます。



要 点 \_

スプリングは外径が小さい方を車両上側に向けて取り付けます。(右図参照)

- 8. ロッドプーラー、ロッドプーラーアタッチメントをダンパーロッド先端に取り付け後、カラー⑤を取り付けます。
- 9. フォークスプリングコンプレッサー【90890-01441】を使ってカラー⑤を押し下げ、ロックナットとカラー⑤の間にロッドホルダー【90890-01434】の「B」刻印側を差込みます。
- 10.ロッドプーラーとロッドプーラーアタッチメントを取り外し、ロックナットの位置"b"を14mm以上にセットします。



- 11.キャップボルトL②の減衰力アジャスターを調整し、寸法"c"を14.5mm以上にセットします。
- 12.キャップボルトL②をダンパーロッドASSY.③に取り付け、ロックナットで締め付けます。

要点

キャップボルトは、ダンパーロッド先端が底着くまでねじ込み、ロックナットで固定します。

13.ロッドホルダーとフォークスプリングコンプレッサーを取外し、キャップボルトをアウターチューブに取り付けます。

要点

スプリング反力で指をはさまないように注意して作業します。

# ■フロントフォークの取り付け

- 1.サービスマニュアルを参考にして、フロントフォークを車両に取り付けます。

  □
- 2. 「推奨セッティング」にしたがって、スプリングプリロード、減衰力を適切に調整します。

安点

アッパーブラケットとハンドルバーのピンチボルトを締め付ける前に、左右のキャップボルトL①、R②を指定のトルクで締め付けます。

#### 推奨セッティング

#### ▲ 警告

サスペンションの調整は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。

#### 注意

調整範囲を超えて、アジャスターを回さないでください。

#### ■ スプリングプリロード調整

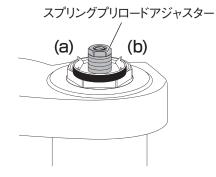
スプリングプリロードを調整することでスプリング初期加重が変化し、車両の前後姿勢が変化します。 スプリングプリロードアジャスターを(a)方向に回すとプリロードが強くなり、(b)方向に回すとプリロードが弱くなります。

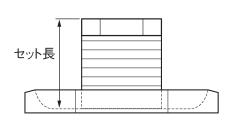
#### スプリングプリロード

最弱: セット長=19.0mm 標準: セット長=15.0mm 最強: セット長=4.0mm

※プリロードセッティングは、 セット長を測定して決めます。

バネ定数(片側)7.4N/mm



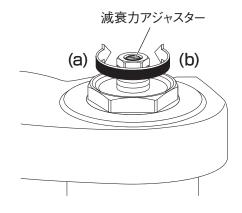


#### ■ 伸側減衰力調整(フロントフォーク左側)

減衰力を調整することで、サスペンションのストロークスピードが変化します。 減衰力アジャスターを(a)方向に回すとストロークスピードが遅くなり、(b)方向に回すとストロークスピードが速くなります。

伸側減衰力(フロント TEN)

最弱:基点より 15 段目標準:基点より 6 段目 最強:基点=1 段目



- ※減衰調整はアジャスターを(a)方向へ(0.5Nmで)いっぱいに回したところから
  - (b) 方向に回した最初のノッチのある箇所を基点(1段目) とします。
  - (a)方向いっぱいに回した位置にノッチ感がある場合はそこを基点(1段目)とします。

# ■ 使用パターン別 推奨セッティング

		「フロント」「リア」同時装着時		その他組合せ時	
フロントサスペンション		KYBスペシャルインナーキット		純正サスペンション	KYBスペシャル インナーキット
リアサスペンション		KYBスペシャルサスペンション		KYBスペシャル サスペンション	純正サスペンション
乗車人数		1名(65kg)	2名	1名	1名
フロント側 設定	減衰(伸) TEN	6段目	6段目	調整機構なし	6段目
	プリロード セット長	15.0mm	15.0mm	調整機構なし	15.0mm
リア側 設定	減衰(圧) COMP	12段目	動きを硬くしたい場合に 1~2段締め込む	12段目	調整機構なし
	減衰(伸) TEN	12段目	ふわつきが多い場合は 1~2段締め込む	12段目	調整機構なし
	プリロード セット長	127mm	リアの沈み込みが多い場合、 3~5mm締め込む (調整範囲123mm~129mm)	127mm	4段目

※リアサスペンションの調整方法については各取扱説明書を参照ください

#### 要点

- アジャスターは調整範囲内で使用してください。
- 乗車する人の体重や積載する重量の違い、お好みによってセッティングは変更してください。

#### 取扱上のご注意

- 乗車前に各部の緩み、ガタがないことを確認してください。
- リアクッションユニットの清掃は、中性洗剤を使用し、柔らかい布かスポンジで水洗いします。洗車後は、柔らかい布などで水分をよくふき取ってください。

●商品に関するお問い合わせ

